

社会調査データ 活用セミナー

社会調査データの解析

① クロス集計と相関分析

Date & Place

11月13日(木)17:30～19:00
8号館8301教室

対象者と申込方法

統計や量的調査に関心のある学部
生・院生・教職員（兼任講師含）

事前申し込み制（定員30名）
お申し込みはこちら→



締切：前日17時

講師

御手洗由佳（社会情報教育研究センター助教）

近年、データアーカイブの拡充や統計教育の広まりによって、既存の社会調査データを用いた二次分析に注目が集まっています。ですが、データを手入手しても分析プランの設定や調査データの加工といった実践的なところで躓いてしまう初学者も多くいるのではないのでしょうか。今回のセミナーでは、分析の手前のデータ処理とその考え方について解説し、立教大学社会調査データアーカイブ RUDAのデータを利用して、統計分析ソフトSPSSを用いた基本的な統計分析(クロス集計と相関分析)を実際に行います。

② 回帰分析

Date & Place

11月27日(木)17:30～19:00
8号館8301教室

対象者と申込方法

統計や量的調査に関心のある学部
生・院生・教職員（兼任講師含）

事前申し込み制（定員30名）
お申し込みはこちら→



締切：前日17時

講師

池田岳大（社会情報教育研究センター助教）

本セミナーは、回帰分析を用いた応用分析に必要な基本的知識およびデータハンドリングの基本事項について講義していきます。講義のあと演習を行います。具体的には

- ・回帰分析で頻出の基本概念
- ・係数や解釈や結果のまとめ方
- ・統計的検定

などに関する理解を深めていきます。また、実際にRUDAに寄託されたデータを用いながら統計ソフトによるハンドリングや結果の解釈、まとめ方についても講義し、皆様が実際に量的調査を行う際に注意すべき点についても説明していきます。

